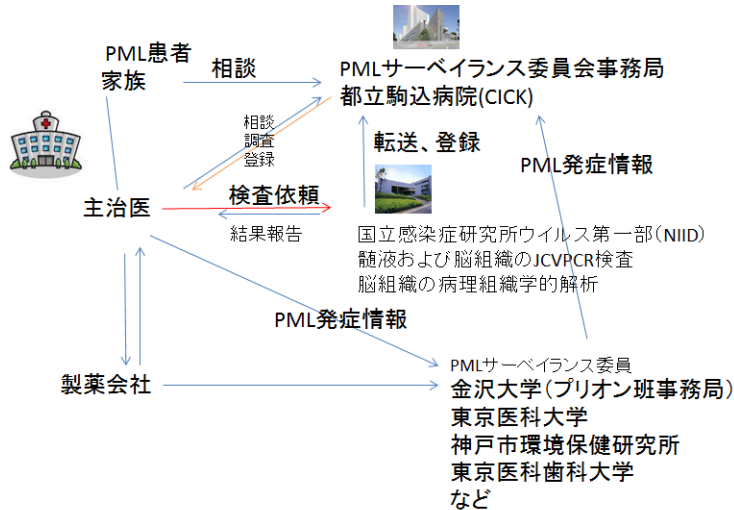


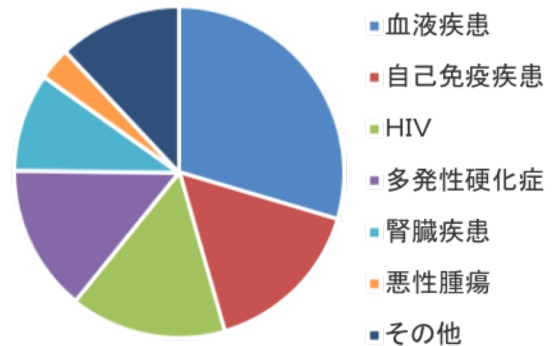
PMLサーベイランス委員会症例登録システムによる疫学集計研究

研究分担者: 東京都立駒込病院脳神経内科 三浦義治

PML サーベイランス委員会調査登録システム



基礎疾患別 (208症例)



解説

- 本研究の目的は、従来のPML調査システムを改善し、新規サーベイランスシステムを構築してPMLの診断基準、重症度分類策定、改訂のための疫学調査を行うことである。
- 平成28年1月よりPMLサーベイランス委員会による新規症例登録システムを開始し、平成29年12月までに208症例の情報収集が行われた。(平成29年4月以降96症例)。84件の主治医承諾書取得(登録)、80件の調査票取得、84件の脳MRI画像取得がなされた。このうち髄液JCV DNA PCR陽性でProbable PML以上が47例で、この中に多発性硬化症の再発予防薬であるフィンゴリモード使用に伴う進行性多巣性白質脳症が4例(臨床的確定診断)含まれていた。疑い症例を含む集計では基礎疾患は血液疾患37、自己免疫疾患20、HIV感染症19、多発性硬化症18、腎疾患12、悪性腫瘍4であった。脳生検など病理組織学的検査は19症例で施行されていた。